

2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 テモナ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3985 URL https://temona.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐川 隼人  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 重井 孝之 (TEL) 03-6635-6452  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	592	24.8	99	381.7	98	348.2	59	316.8
2020年9月期第1四半期	474	38.3	20	△68.4	21	△66.2	14	△64.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	5.62	5.52
2020年9月期第1四半期	1.28	1.24

(注) 2020年9月期第1四半期は連結業績を発表しておりましたが、当第1四半期は非連結での業績発表としております。そのため、前年同四半期については非連結での業績を比較情報として記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,020	1,129	55.6
2020年9月期	2,034	1,061	51.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 1,122百万円 2020年9月期 1,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,281	31.9	196	358.5	194	347.6	117	379.1	11.18
通期	2,814	22.3	412	148.0	407	147.2	248	158.1	23.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2021年9月期の連結業績予想を発表しておりましたが、連結子会社の事業活動縮小に伴い、その重要性が低下したため、当第1四半期決算より非連結決算に移行いたしました。これに伴い、当社は新たに2021年9月期の個別業績予想を公表いたしました。なお、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については、非連結での業績により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期1Q	11,373,592株	2020年9月期	11,256,048株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年9月期1Q	745,318株	2020年9月期	745,292株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期1Q	10,520,956株	2020年9月期1Q	11,081,168株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2020年9月期744,500株、2021年9月期1Q744,500株)を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2020年9月期第1四半期累計期間は連結業績を発表しておりましたが、当第1四半期累計期間は非連結での業績発表としております。そのため、前年同四半期については非連結での業績を比較情報として記載しております。

なお、非連結での業績は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	増減額	増減率 (%)
	金額	金額		
売上高	474,930	592,660	117,729	24.8
売上原価	153,756	238,333	84,577	55.0
売上総利益	321,174	354,326	33,152	10.3
販売費及び一般管理費	300,603	255,246	△45,356	△15.1
営業利益	20,570	99,079	78,509	381.7
経常利益	21,944	98,362	76,417	348.2
当期純利益	14,188	59,141	44,952	316.8

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響が長引いており、一部には持ち直しの動きがみられるものの景気の先行きは非常に不透明な状況が続いております。

当社の事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2019年のBtoC-EC市場規模が前年比7.65%増の19.3兆円、BtoB-EC市場規模が前年比2.5%増の352.9兆円と堅調に推移しております。また、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※1）は、BtoC-ECで6.76%、BtoB-ECで31.7%と増加傾向にあったことに加えて、新型コロナウイルスに対応するための社会的距離確保の要請が強まっていることから、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。そして近年では、人口減少などを背景に顧客の獲得コストが上がり続けており、クラウド型のビジネスを始めとしたサブスクリプションビジネスの需要が高まっております。

このような経営環境のもと、当社では「ビジネスと暮らしを“でもなく”（※2）する」という理念に基づき、ストック型のビジネスモデルをより普及させるべく、サブスクリプションビジネスに特化したBtoC事業者向けショッピングカートシステム「サブスクストア」の機能向上に注力してまいりました。また、「サブスクストア」や「たまごリピート」の提供を通して培ったノウハウと機能を活用し、リアル店舗に特化したサブスクリプション管理システム「サブスクアット(サブスク@)」の販売を展開するなど、ターゲット市場の拡大を推進しております。

当社の事業は、EC支援事業の単一セグメントのため、以下、サービス別の業績を示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

サービスの名称	前第1四半期 累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		当第1四半期 累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
a. たまごレポート	275,431	58.0	199,622	33.7	△75,809	△27.5
b. サブスクストア	43,369	9.1	161,163	27.2	117,793	271.6
c. 決済手数料	142,187	29.9	202,802	34.2	60,615	42.6
d. その他	13,941	2.9	29,072	4.9	15,130	108.5
合計	474,930	100.0	592,660	100.0	117,729	24.8

a. 「たまごレポート」は、後継システムである「サブスクストア」の販売に注力するため新規の販売を停止しており、サービス利用アカウント数は737件（前年同期比11.1%減）となったことに加えて、オプション等の販売高においてもチャットボットなどの主力オプションサービスが競合企業との価格競争により減少したことなどから、売上高は199,622千円（前年同期比27.5%減）となりました。

b. 「サブスクストア」のサービス利用アカウント数は373件（前年同期比128.8%増）へと順調に伸長いたしました。また、チャットボットやテモナビなどのオプションサービスの販売高も伸長し、売上高は、161,163千円（前年同期比271.6%増）となりました。

c. 当第1四半期累計期間における当社の提供するサービスの流通総額は、390億円（前年同期比5.9%増）と若干伸び悩んだものの、「サブスク後払い」をはじめとする決済サービスの拡充を行い、決済手数料の売上高は、202,802千円（前年同期比42.6%増）となりました。

d. 「サブスクビューティ」「サブスクアット」などのその他のサービスについては、「サブスクアット」のカスタマイズの受注などから、売上高は29,072千円（前年同期比108.5%増）となりました。

以上の結果、売上高は592,660千円（前年同期比24.8%増）となりました。

売上原価は、自社決済サービスである「サブスク後払い」や大規模顧客向けカスタマイズ案件の売上高増加に伴う売上原価の増加などから、238,333千円（前年同期比55.0%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、子会社に委託していた研究開発活動の縮小やリファラル採用の強化に伴う採用費の圧縮、さらにはリモートワーク環境化で通勤費等が減少し、255,246千円（前年同期比15.1%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、営業利益99,079千円（前年同期比381.7%増）、経常利益98,362千円（前年同期比348.2%増）、四半期純利益59,141千円（前年同期比316.8%増）となりました。

※1 EC化率：全ての商取引市場規模に対するEC市場規模の割合。

※2 てもなく：古くからの日本語である「てもなく(手も無く)」は、「簡単に、たやすく」という意味。当社の社名の由来であり、「ビジネスと暮らしを”てもなく”する」は、当社の経営理念でもあります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べて13,347千円減少し、2,020,713千円となりました。この主な要因は、法人税等の納付などにより、現金及び預金が17,764千円減少したことなどによるものであります。

### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べて81,129千円減少し、891,284千円となりました。この主な要因は、前事業年度において売上高がスポット的に大きくなったLTV連動型アフィリエイトに係る原価の支払により、買掛金が40,165千円減少したことなどによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて67,781千円増加し、1,129,429千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が59,141千円増加したことなどによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済環境への影響が長引いており、景気の先行きは非常に不透明な状況となっておりますが、現時点では、当社の業績に大きな影響はございません。また、拡大する感染症への対策として2020年3月27日より原則在宅勤務に移行しておりますが、業務への大きな影響もございません。

当社の主な収益は、月額の利用料を基礎とするストック型の収益であり、当社サービスを利用するお客様もサブスクリプション型のビジネスモデルであるため、新型コロナウイルスによる業績への大きな影響は見込んでおりませんが、当該感染症の規模拡大などにより当社及び当社のお客様の事業に大きな影響が発生し、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

なお、当社は、2020年11月10日付の「2020年9月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて2021年9月期の連結業績予想を発表しておりましたが、連結子会社の事業活動縮小に伴い、その重要性が低下したため、当第1四半期決算より非連結決算に移行しております。これに伴い、最近の業績動向も踏まえた2021年9月期個別業績予想を発表しておりますので、最新の業績予想については、本日（2021年2月12日）公表いたしました「非連結決算への移行及び2021年9月期個別業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,241,983	1,224,219
売掛金	278,349	273,904
その他	94,341	92,250
貸倒引当金	△498	△490
流動資産合計	1,614,177	1,589,884
固定資産		
有形固定資産	50,594	48,343
無形固定資産	158,832	169,288
投資その他の資産	210,457	213,197
固定資産合計	419,884	430,829
資産合計	2,034,061	2,020,713
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	118,274	78,109
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	139,968	129,966
未払金	88,345	61,637
未払法人税等	34,312	40,427
前受金	129,562	128,852
その他	23,087	40,108
流動負債合計	633,550	579,100
固定負債		
長期借入金	336,650	309,983
株式給付引当金	1,281	1,281
ポイント引当金	931	919
固定負債合計	338,862	312,183
負債合計	972,413	891,284
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	379,790	384,471
資本剰余金	369,790	374,471
利益剰余金	888,574	947,715
自己株式	△583,704	△583,744
株主資本合計	1,054,449	1,122,913
新株予約権	7,198	6,515
純資産合計	1,061,648	1,129,429
負債純資産合計	2,034,061	2,020,713

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	592,660
売上原価	238,333
売上総利益	354,326
販売費及び一般管理費	255,246
営業利益	99,079
営業外収益	
受取手数料	100
営業外収益合計	100
営業外費用	
支払利息	432
売上債権売却損	385
営業外費用合計	817
経常利益	98,362
特別損失	
投資有価証券評価損	2,715
特別損失合計	2,715
税引前四半期純利益	95,646
法人税等	36,505
四半期純利益	59,141

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した会計上の見積りにおける新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社は、EC支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。